

福岡高速6号線

開通1年後の整備効果について【お知らせ】

令和3年3月27日に開通しました福岡高速6号線（通称：アイランドシティ線）の開通1年後の整備効果についてお知らせします。

◆ 交通状況

- ・福岡高速6号線の開通1年後の交通量は、約8,800台/日。
- ・香椎浜出入口等の交通がアイランドシティ出入口へ転換するとともに、アイランドシティ出入口を含む周辺出入口の交通量は約12%増加。
- ・片男佐橋交差点渋滞長は、400mから70mに約80%減少。

◆ 整備効果

① 物流の効率化

- ・所要時間が短縮されたことで、物流効率化に寄与。

② まちづくりの更なる発展

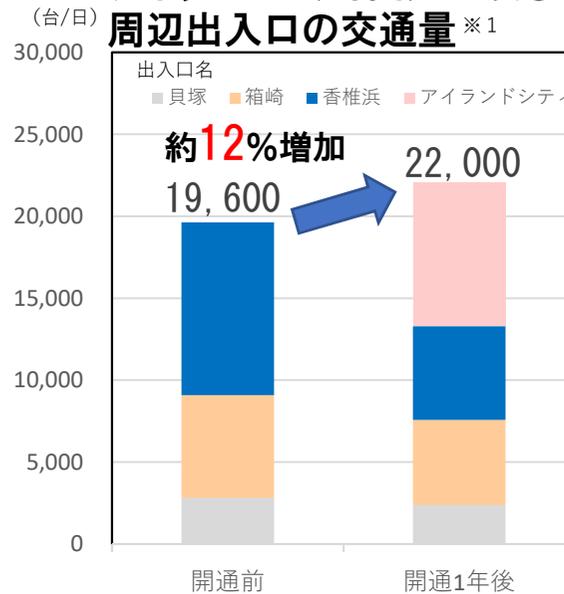
- ・アイランドシティにおいて、物流施設の立地や住宅等の開発のための土地分譲が進展。

香椎浜出入口等の交通がアイランドシティ出入口へ転換するとともに、アイランドシティ出入口を含む周辺出入口の交通量は**約12%増加**しました。
片男佐橋交差点渋滞長は、400mから70mに**約80%減少**するなど、一般道の渋滞緩和に寄与しています。

■アイランドシティ周辺の位置図



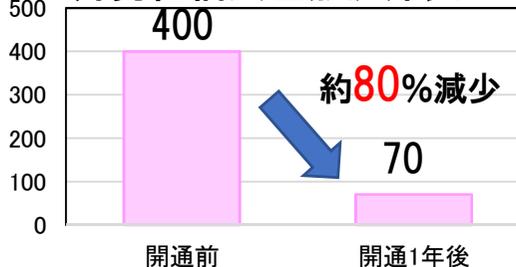
アイランドシティ出入口及び周辺出入口の交通量 ※1



片男佐橋交差点



片男佐橋交差点渋滞長 ※2



- 所要時間が短縮されたことで、物流効率化に寄与。
 (例)開通前はアイランドシティから配送先(飯塚)までの往復は一日2回、開通後は所要時間が短縮されたことで、**3回の往復**が可能となった。

■配送ルート

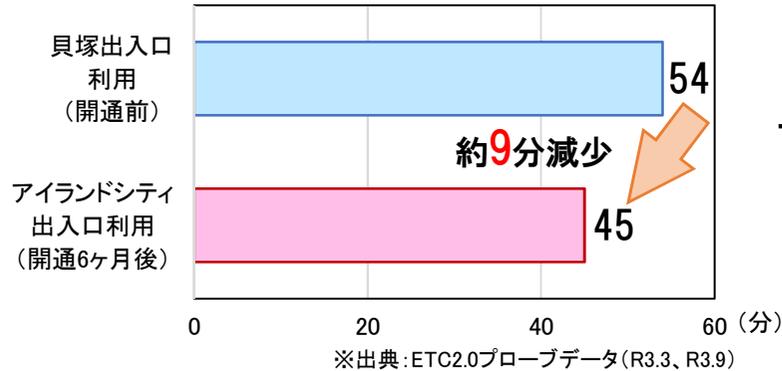


※出典:ETC2.0プローブデータ(R3.3、R3.9)

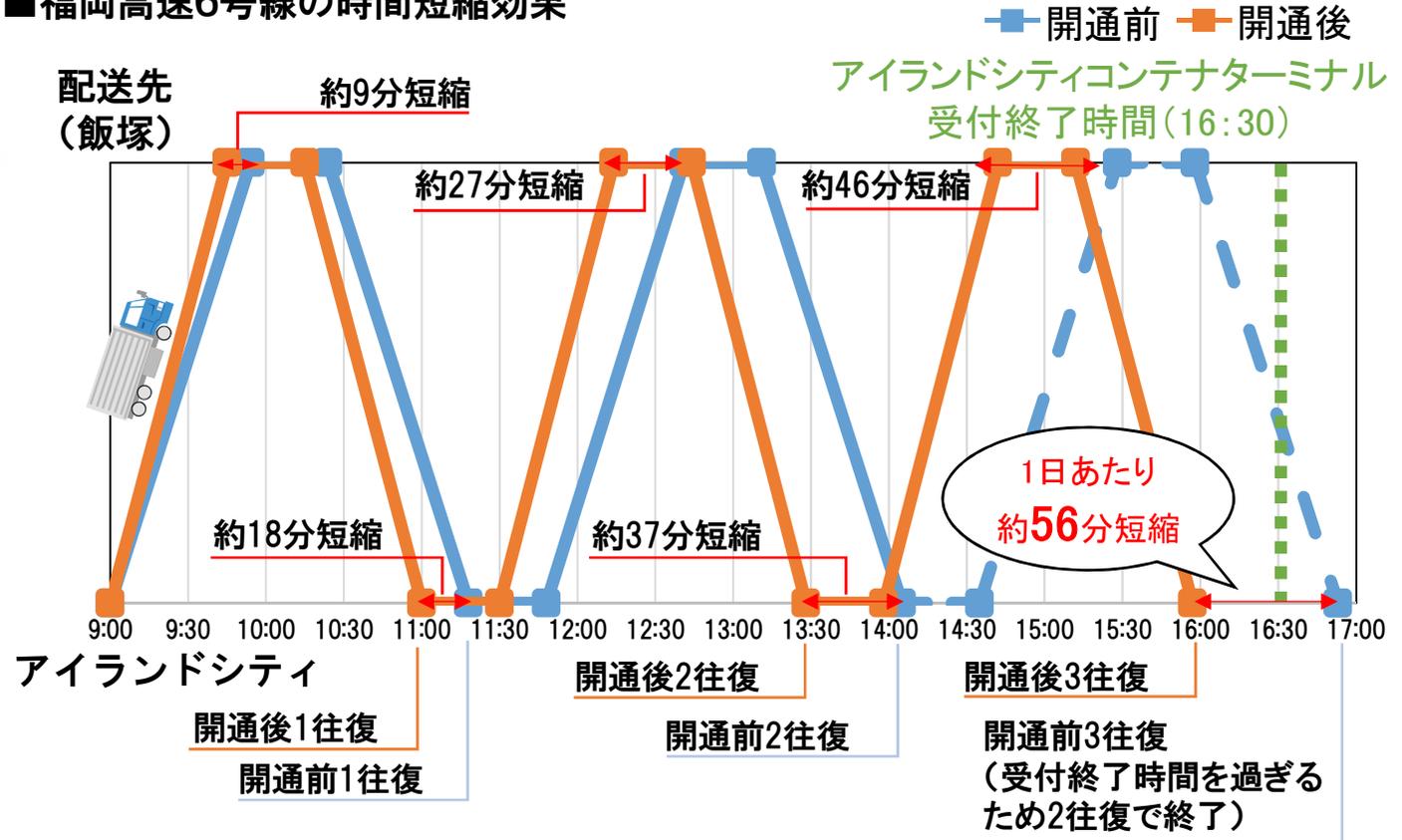
開通前ルート:かめめ大橋⇨貝塚出入口⇨粕屋出入口⇨R201⇨配送先

開通後ルート:アイランドシティ出入口⇨粕屋出入口⇨R201⇨配送先

■アイランドシティから配送先までの所要時間



■福岡高速6号線の時間短縮効果



※出典:ETC2.0プローブデータ(R3.3、R3.9)、ヒアリング

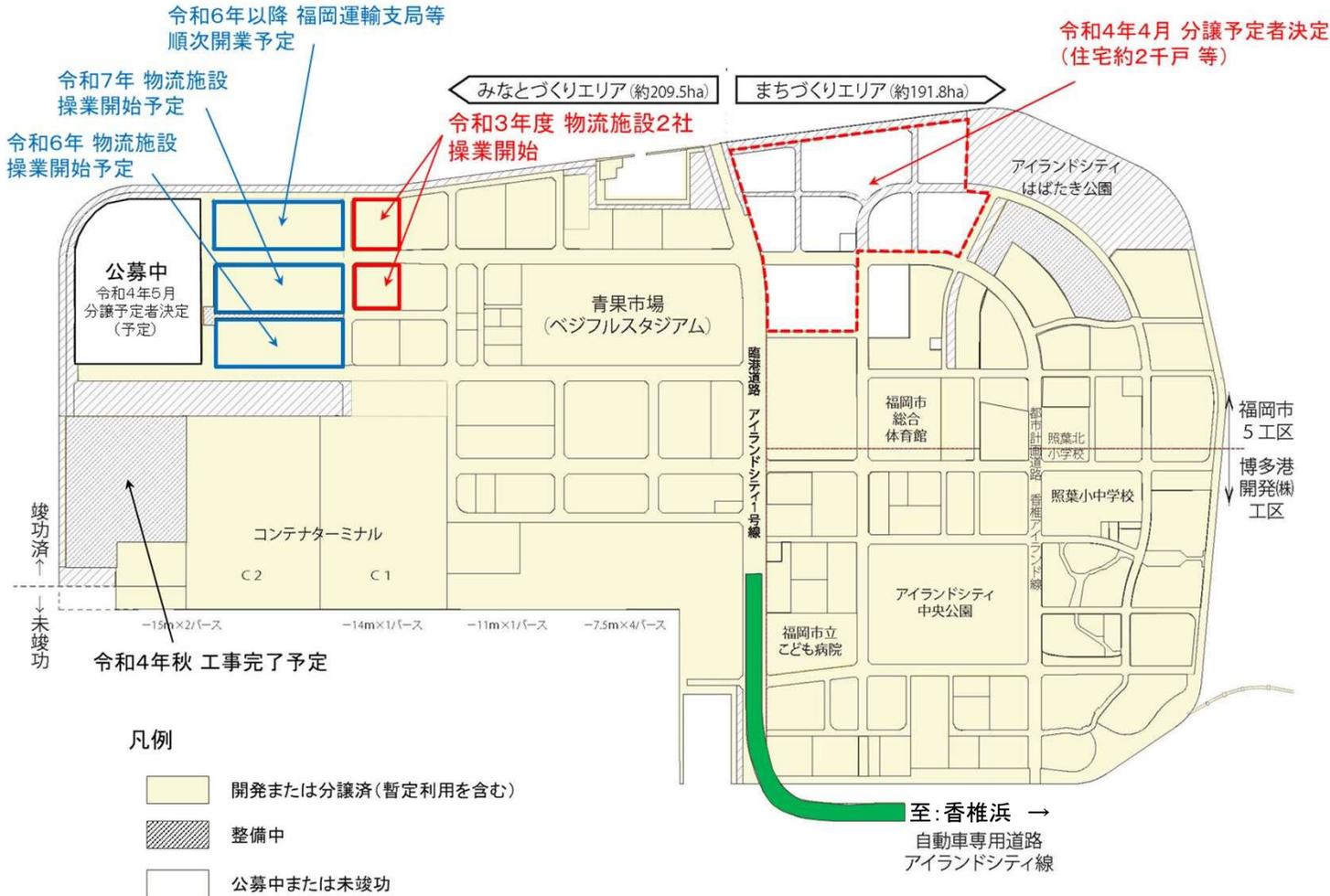
物流企業関係者



- アイランドシティ出入口を利用することで往復時間がアイランドシティのコンテナターミナル受付終了時間である16時30分に間に合うようになり、**回転数(1日2往復→3往復)**が上がっている。
 - 16時30分までの荷受けに間に合えば、翌日の仕事を前倒しできるため、売り上げの増加やドライバーの**労働時間短縮**に役立っている。
- ※出典:ヒアリング

- アイランドシティみなとづくりエリアにおいて、物流施設の立地や土地分譲が進展。
- アイランドシティまちづくりエリアにおいて、住宅等開発のための土地分譲が進展。

■アイランドシティの開発状況(福岡高速6号線開通以降)



※出典:福岡市 港湾空港局

(参考)イメージパース



(参考)アイランドシティ居住人口の推移

